

2022年の主な出来事

Major events in 2022

★は3年ぶりの開催

1月
1日 新南部清掃工場供用開始
4日 「パートナーシップ宣誓制度」受け付け開始
8日～ラグビー男子セブンズ日本代表チームの鹿児島キャンプ
27日 本市にまん延防止等重点措置適用

2月
2日 「電子図書館」スタート
3日 SDGs推進フォーラム2022

3月
14日～**1** ウクライナ人道支援募金箱の設置
23日～ラグビー女子セブンズ日本代表チームの鹿児島キャンプ
26日 鹿児島駅周辺整備の完了
29日 センテラス天文館災害時一時滞在施設協定を締結

4月
1日 こども家庭支援センター設置
オンラインによる町内会加入申し込みフォームの運用開始
9日 センテラス天文館(天文館図書館)オープン
25日～大型連休に向けた感染症対策徹底の呼び掛け

5月
14・15日★錦江湾公園はなまつり
15日**2**★第25回渋谷・鹿児島おはら祭
16日 市教育委員会とソフトバンク(株)が「ICTを利活用したAI人材の育成に関する連携協定」を締結
30日**3**マイナンバーカード臨時交付センターを開設
かごしま水族館開館25周年

6月
1日 「女性のつながりサポート事業」スタート
(7月1日から生理用品を無料配布)
3日～イオンモール鹿児島とセンテラス天文館に「予約なし・接種券なし」で新型コロナワクチン接種が受けられる集団接種会場を設置
30日 マイナポイント第2弾本格スタート

7月
9日★磯海水浴場海開き
12日 コロナ対策関係者会議
17日 松本山雅FC「松本市・鹿児島市文化・観光交流都市デー」
24日～**4**初めての桜島噴火警戒レベル5への引き上げ



8月
3日 県が「BA.5対策強化宣言」を発令
18日 本市保健所管内における新型コロナ陽性者数が過去最多の2,243人に(11月24日時点)
20日★第20回記念かごしま錦江湾サマーナイト大花火大会
29日**5**下鶴市長就任後初めての対面での市政報告会(東京)
30日 「保育士・保育所支援センター」が鹿児島中央駅前(キャンセビル内)に移転

9月
1日**6**民間企業の2人がDX推進サポーターに就任
12日 「電車通りデッキ」の供用開始(中央町)
16日 かごつま甲突川Autumn Fes
(3期に分け11月13日まで)
20日 新型コロナ陽性者の全数把握の見直し
27日 オミクロン株対応ワクチンの接種開始

10月
1日★観光イベントとして最後の「桜島火の島祭り」
5日 障害者手帳アプリ「ミライロID」運用開始
12日 病児・病後児保育のネット予約受け付け開始
14日**7**平川動物公園開園50周年
19日 仏・ストラスブール市とパートナーシップ協定の更新を確認
22日 音とあかりの散歩道・市ふるさと芸能祭
29日 鹿児島×渋谷クリエイティブシンポジオン **7面**
30日 照国表参道歩行者天国社会実験

11月
1日**8**お二人の大切な記念に～火山の妖精 マグニオンがモチーフの「オリジナル婚姻届」運用開始
2・3日 第71回おはら祭～「花電車」新型車両も運行 **7面**
12日 スタジアム整備の機運向上を図るイベント「かごスタ!TALK2022」 **7面**
15日 観光農業公園(グリーンファーム)開園10周年
24日 長沙市との友好都市締結40周年交流協議書にオンラインで調印



市長からの
メッセージ

この一年を
振り返って

師走のにぎわいを、うれしさとともに感じる今年の暮れです。

新型コロナの影響は今年も大きく、ワクチン接種の促進や保健所機能の強化などの感染拡大防止に全力を尽くすとともに、世界的な物価高騰の波も及んでいる市民生活や事業活動への支援を進め、市民のいのち、くらし、しごとを守ることを最優先に取り組んでおります。

医療関係者をはじめ暮らしを支える多くの方々のご尽力、ご家庭や職場、学校などで感染対策に努められたお一人おひとりのご協力に、改めて心から感謝申し上げます。

また今年は、本市の今後10年間のまちづくりの指針である第六次総合計画がスタートし、市民や事業者の皆様と一緒になって、新たな時代に向けた第一歩を踏み出した一年でした。

コロナ下で人やまちの交流が制約を受けながらも、本市に想いを寄せる多くの方々と共に、さまざまな場面で多様な「つながり」を創り、まちに新たな魅力や価値を生み出すことに努めました。

センテラス天文館は中心市街地のランドマークとして早くも親しまれ、甲突川沿いでは、民間の力を生かして、リバーサイドならではのイベントを実験的に開催するなど、まちの新たなにぎわいづくりを始めています。また、ICT(情報通信技術)を積極的に取り入れ、電子図書館や病児・病後児保育の予約、住民票の申請など、幅広い分野でインターネットによるオンラインサービスを導入して、窓口に行かなくても手続きできるサービスの提供を進めています。

来年開催のかごしま国体・大会まで、いよいよあと10月です。選手の皆様のご活躍、そして応援や運営などさまざまな活動を通じて、スポーツを「する・見る・支える」人の輪が「つながり」、本市に大いに活気をもたらしてくれることを心から期待しています。

令和5年が皆さまにとって明るく、希望に満ちた年となりますようお祈りいたします。

鹿児島市長 下鶴隆央

